R5.2.15

令 和 5 年 度 当 初 予 算 主 要 事 業
（令和4年度第1次3月補正予算含む）

Ⅰ　喫緊の課題への対応

1　新型コロナウイルス感染症対策

2　電気料金をはじめとした物価高騰対策

Ⅱ　幸福度日本一の石川県の実現

（R5年秋策定予定の「石川県成長戦略（仮称）」の先取り）

1　新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

（1）　産業のDX推進

（2）　産業のGX推進

（3）　産業を支える人材の確保・育成

（4）　新事業・新産業の創出

（5）　国内外への販路拡大・魅力発信

（6）　中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化

（7）　企業等の誘致の推進

2　収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

（1）　農業生産構造の強化

（2）　農林水産物や里山里海資源のブランド化の推進

（3）　持続可能な農業・畜産業の体制づくり

（4）　県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化

（5）　持続性のある水産業の実現

3　個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

（1）　個性と厚みのある文化の創造と発展

（2）　スポーツを通じた活力の創造

（3）　選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化

（4）　交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤の更なる充実

（5）　地域活力の向上に向けた移住・定住の促進

（6）　個性豊かな地域づくり

（7）　世界に開かれた国際交流の推進

4　石川の未来を切り拓く人づくり

（1）　次世代を担う人材の育成

（2）　地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展

（3）　人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

5　温もりのある社会づくり

（1）　安心して子どもを産み育てることができる環境の充実

（2）　生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

（3）　全ての県民への必要な医療の提供

（4）　誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり

（5）　男女が共に活躍できる社会の実現

6　安全・安心かつ持続可能な地域づくり

（1）　災害に負けない強靭な県土づくり

（2）　安心して快適に暮らせる地域づくり

（3）　持続可能な循環型社会づくり

（4）　自然と人とが共生できる社会づくり

7　社会全体のデジタル化の推進

（1）　DXに向けた環境整備

（2）　産業・暮らしのDX推進

（3）　行政のDX推進

Ⅲ　計画的な行財政運営の推進

（1）　柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保

（2）　県民の視点に立った行政サービスの提供

（3）　財政健全性の維持・向上

Ⅰ　喫緊の課題への対応

1　新型コロナウイルス感染症対策

－　医療提供体制の確保　29,642,197 千円

患者専用病床を確保する医療機関に対する支援、
宿泊療養施設・自宅療養者の支援体制の確保、
寄付金を活用した医療従事者に対するギフト券の贈呈など

－　検査体制の確保　6,332,300 千円

身近な医療機関を中心とした検査体制の確保、
医療機関・高齢者施設等の職員に対する一斉検査など

－　ワクチンの円滑な接種に向けた体制の確保　1,147,240 千円

いしかわ県民ワクチン接種センターの運営、
ワクチン接種の促進に向けた医療機関への支援など

2　電気料金をはじめとした物価高騰対策

－ ㊎ GX（省エネ・再エネ）設備の導入支援（3月1次補正）　500,000 千円

エネルギーコストの削減を図る企業の設備投資に対する助成

－ ㊐ 省エネ・脱炭素化に対応した緊急特別融資の創設　融資枠　100 億円

－ ㊐ 「パートナーシップ構築宣言」や「賃上げ」を行う企業に対するインセンティブの付与

宣言企業に対する補助事業審査時の加点措置、
賃上げ実施企業に対する補助率の上乗せ

－　物価高克服に向けた収益力強化の取り組みへの支援（3月1次補正）　50,000 千円

収益力強化につながる商品改良に対する助成

－　DX設備の導入支援（3月1次補正）　400,000 千円

㊐連携枠の創設、㊐設備導入に向けた可能性調査

－　経営力強化総合支援アドバイザーによる事業者への伴走支援　130,000 千円

専門家による様々な経営課題に対する助言・相談（派遣枠4，000回）
派遣回数上限なし（粗利減少事業者等）

－　ゼロゼロ融資返済本格化・物価高騰に対応した特別融資　融資枠　500 億円

－ ㊐ トラック事業者に対する低燃費タイヤの導入支援（3月1次補正）　45,000 千円

－ ㊐ 「いしかわ省エネ家電購入応援キャンペーン」の実施（3月1次補正）　480,000 千円

省エネ家電購入者に省エネ性能に応じたキャッシュレスポイントを交付

Ⅱ　幸福度日本一の石川県の実現（R5年秋策定予定の「石川県成長戦略（仮称）」の先取り）

1　新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

・　新たに策定される産業振興指針を強力に推進するため、産業振興戦略監を新設

・　新たなファンドの創設

－ ㊐ 成長戦略ファンドの創設（総額700億円）

（次世代産業創造ファンド（300億円）・中小企業チャレンジ支援ファンド（400億円）の統合・リニューアル）　480,000 千円

革新的な新技術等の研究開発から身近な商品・サービス開発、販路開拓までの総合的な支援、
研究開発支援メニューの再編（「DX推進」「GX推進」「スタートアップ創出支援」「国プロジェクト採択への準備支援」の4枠に再編）、
新商品・サービスの開発支援（社会課題解決支援の追加）、
産学官金連携の「いしかわ新事業創出支援コンソーシアム（仮称）」による案件発掘・フォローアップ

（1）　産業のDX推進

・　企業の取組段階等に応じた総合的な人材育成支援

－　早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT／AI石川スクール」の開催　26,000 千円

㊐最高デジタル責任者（CDO）育成講座、㊐ローコード講座の新設

－　座学から現場実践までを行うデジタル化実践道場の開講　22,000 千円

－ ㊐ デジタル技術とデザインを活用した提案力の強化　5,000 千円

活用事例を学ぶワークショップの開催など

－ ㊐ デジタル分野でのリスキリングの推進に向けた県内大学との連携　30,000 千円

リスキリング講座開講のためのニーズ・シーズの調査、トライアル研修の実施など

－ ㊔ 離職者向け職業訓練におけるデジタル分野の拡充（240人→380人）　120,000 千円

・　工業試験場における技術支援

－ ㊐ デジタルものづくり拠点「石川ものづくりDX推進センター」の整備（3月1次補正）　445,000 千円

県内企業のシミュレーション技術の活用支援、デジタルツインの研究

－　ものづくり企業の5G活用の推進　7,700 千円

㊐企業版ふるさと納税を活用した5G導入コスト低減のための研究開発など

・　研究開発、設備導入に係る資金や知財面の支援

－ ㊐ デジタル技術を活用した新たなビジネスモデル構築等への支援（成長戦略ファンド）（再掲）

－　DX設備の導入支援（3月1次補正）（再掲）　400,000 千円

－ ㊐ 知的財産の活用促進　3,500 千円

普及啓発セミナーの開催、「知的財産支援計画」の策定など

（2）　産業のGX推進

・　グリーン分野の成長市場の獲得

－ ㊐ 産学官連携による炭素繊維分野における革新的な研究開発の推進　200,000 千円

市場拡大が期待される環境適合型の新たな複合材料にかかる研究開発の実施

－ ㊐ 工業試験場におけるGXに向けた研究開発　100,000 千円

創エネ・蓄エネ技術を用いた先導的な研究開発及び基礎調査の実施

－ ㊐ 脱炭素化に資するエネルギー技術や新素材の研究開発への支援（成長戦略ファンド）（再掲）

・　カーボンニュートラルと生産性向上・競争力強化の両立

－ ㊔ GX（省エネ・再エネ）設備の導入支援（3月1次補正）（再掲）　500,000 千円

－ ㊐ 省エネ・脱炭素化に対応した特別融資の創設（再掲）　融資枠　100 億円

－ ㊐ 産業分野ごとの課題に対応したGXの推進（機械・繊維・食品）　7,500 千円

・　カーボンニュートラルに取り組む事業者の裾野の拡大

－ ㊐ 経営層を対象としたGXセミナーの開催　3,000 千円

－ ㊐ 事業者の脱炭素化へのサポート　15,400 千円

脱炭素総合サポート窓口の設置（いしかわエコハウス）、

ニーズに応じたセミナーの開催

－　民間企業の再生可能エネルギー事業への参入促進

再生可能エネルギー導入支援融資　融資枠　5 億円

－　いしかわエコデザイン賞の進化　5,600 千円

㊐販路開拓等への支援、㊐教育・社会活動部門の創設など

－ ㊐ 春蘭の里における「ゼロカーボンビレッジ」の普及啓発　30,000 千円

修学旅行生向け見学会の開催、普及啓発イベントの開催など

－ ㊨「ゼロカーボンドライブプロジェクト」による水素エネルギーの普及啓発
10,000 千円
協賛企業に燃料電池自動車をリースし、官民一体で普及啓発

(3)　産業を支える人材の確保・育成

・　学生の県内就職促進

－　大学生の県内就職意識の醸成　8,000 千円
㊨大学1・2年生向けプレ・インターンシップの実施、
㊨県外学生のインターンシップ等に係る交通費の助成、
㊨女子学生向け合同企業説明会の開催

－ ㊨ 県内高等教育機関との連携協定の締結による学生の県内定着の促進
10,000 千円
県内高等教育機関と企業の連携による単位認定型インターンシップの実施等への支援

－ ㊨ 新たな奨学金返還助成制度の創設
対象学生の拡大（理系大学院生に理系学部生・高専生を追加）、
対象企業の拡大（ものづくり中小企業（機械・繊維・食品・IT）→全企業）

・　UIターン人材の確保

－ ㊨ ILACのオンライン相談窓口の開設　2,000 千円

・　副業等人材の活用

－ ㊨ 都市部からの副業等人材の活用支援　35,000 千円
ILACによる県内企業と都市部の副業等人材とのマッチング支援

・　女性の活躍促進

－　県内企業の成長に向けた女性の更なる活躍の推進　8,000 千円
「いしかわ女性も輝く企業創造塾」の開催（㊨卒塾企業のフォローアップ、個別相談）、㊨女性管理職を対象とした交流研修会の開催、
㊨女性活躍に関する情報を一元的に発信するサイトの開設など

－ ㊨ 女性の多様な働き方への支援　10,000 千円
多様で柔軟な働き方に向けた就業機会の提供、研修の実施など

・　外国人材の確保・定着

－ ㊨ 外国人労働者の確保・定着支援　10,000 千円
企業向けセミナーの開催、専門家による採用前準備から定着までの伴走支援、
オンライン日本語教室の実施

－　外国人介護人材の受入支援　11,140 千円
㊨外国人の雇用を検討する介護事業者向けのセミナー・個別相談会の開催、
日本語学習経費への支援など

－ ㊨ 外国人農業人材の受入支援　1,000 千円
外国人材の活用に関心のある農業法人向けセミナーの開催

・　企業ニーズに対応する産業人材の育成

－　人手不足業種向け人材確保支援　28,000 千円
㊨人手不足分野別の合同説明会の開催、業務の切り分け支援など

－ ㊨ 産業技術専門校（金沢・七尾・能登の3校）の在り方の検討　1,000 千円
施設の老朽化や人口減少・訓練ニーズを踏まえた今後の在り方の検討に着手

－　早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT／AI石川スクール」の開催（再掲）
26,000 千円

－　座学から現場実践までを行うデジタル化実践道場の開講（再掲）　22,000 千円

－ ㊨ デジタル技術とデザインを活用した提案力の強化（再掲）　5,000 千円

－ ㊨ デジタル分野でのリスキリングの推進に向けた県内大学との連携（再掲）
30,000 千円

－ ㊨ 離職者向け職業訓練におけるデジタル分野の拡充（240人→380人）（再掲）
120,000 千円

（4） 新事業・新産業の創出

・ 地域の強みを活かした新たな技術・製品・サービス開発の促進

－ ㊨ 成長促進高度アドバイザーの派遣 20,000 千円
本県産業の中核を担う企業をさらなる成長に導く高度専門家の派遣

－ ㊨ 地域の社会課題解決に向けた新サービスなどの開発支援（成長戦略ファンド）（再掲）

－ ㊨ 国プロジェクトの採択に向けた事業化可能性調査への支援（成長戦略ファンド）（再掲）

・ 成長の新たな原動力となるスタートアップの創出・育成

－ スタートアップ創出の基盤構築 55,000 千円
大学発スタートアップ支援、スタートアップビジネスプランコンテストの実施、
㊨専門家や先輩起業家による伴走支援など

－ ㊨ スタートアップの試作・実証等への支援（成長戦略ファンド）（再掲）

－ ㊨ 産学官金連携の「いしかわ新事業創出支援コンソーシアム（仮称）」による案件発掘・フォローアップ（再掲）

・ 知的財産の活用促進

－ ㊨ 知的財産の活用促進（再掲） 3,500 千円

（5） 国内外への販路拡大・魅力発信

・ 県産品の魅力・価値の効果的な発信

－ ㊨ 首都圏アンテナショップの移転・機能強化（3月1次補正） 390,000 千円
新店舗（八重洲）の整備（R6年3月オープン）

－ 伝統産業の商品開発・販路開拓支援 9,000 千円
㊩セミナーの開催（2回→6回）、個別相談の実施、関西の展示会への出展

・ 国内外への事業展開の促進とニッチトップ企業の拡大

－ 海外アンテナショップの機能強化 88,000 千円
㊩開設期間の拡大（6ヶ月→通年）、㊨現地小売店での石川フェアの開催

－ 石川の食品・農林水産物の輸出強化 41,000 千円
海外バイヤーとのネットワーク構築による販路開拓、
㊨専門家を招へいした勉強会・セミナーの開催、
㊨金沢港への食品輸出のルート転換・利用拡大への支援、
㊨INATOやJETRO、輸出に関心のある農業法人等からなるネットワークの構築、
㊨輸出拡大に取り組む農業法人等に対する伴走支援

－ ㊨ JETROと連携した海外ECサイトの活用促進 6,000 千円
専門家の伴走支援による県産品のテストマーケティングの実施など

－ ニッチトップ企業の育成 31,000 千円
国内外でニッチトップを目指す企業に対する支援など

（6） 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化

・ 経営課題の高度化・複雑化に対応するための伴走支援の強化

－ 中小企業庁等との連携による伴走支援の強化 38,000 千円
㊨経営支援のシステム構築による伴走支援の高度化・効率化、
支援制度活用セミナーの開催、㊨優良事例発表会の開催など

－ ㊨ 支援機関の伴走支援体制の強化 37,100 千円
㊨伴走支援に積極的に取り組む商工会・商工会議所への経営指導員の加配、
㊨中小企業団体中央会の研修開催への支援

－ ㊨ 成長促進高度アドバイザーの派遣（再掲） 20,000 千円

・　円滑な事業承継の推進

－ ㊐ 事業承継支援の強化　35,000 千円

商工会・商工会議所と連携した個別相談会の開催による掘り起こし、
売り手・買い手双方を対象とした企業価値算定等の費用に対する助成

－　経営力強化総合支援アドバイザーによる事業者への伴走支援（一部再掲）

事業承継案件については派遣回数上限なし

・　セーフティネットの充実

－　ゼロゼロ融資返済本格化・物価高騰に対応した特別融資（再掲）

・　賃上げを行う企業への支援環境の整備

－ ㊐「賃上げ」を行う企業に対するインセンティブの付与（再掲）

（7）　企業等の誘致の推進

・　企業等の戦略的誘致の推進

－ ㊐ 企業立地補助金の見直し

雇用人数増加の要件及び雇用加算の廃止、労働生産性が高い企業等への
補助率上乗せなど

－ ㊐ サテライトオフィスの誘致推進　6,000 千円

開設意欲のある企業の掘り起こし、県内市町とのマッチング支援

・　コンテンツ産業に携わる人材・企業の誘致・振興

－ ㊐ コンテンツを活用した賑わいの創出　31,000 千円

本県ゆかりのアニメ関連企業等と連携したイベントの開催、
本県が舞台となった映画のロケ地PRによる誘客促進など

－　移住・定住の促進　16,600 千円

お試しテレワーク移住への助成、㊐移住希望者と地域との交流プログラムの実施、
㊐移住起業をテーマとしたセミナーの開催

－ ㊐ サテライトオフィスの誘致推進（再掲）　6,000 千円

－ ㊐ デジタル技術とデザインを活用した提案力の強化（再掲）　5,000 千円

2　収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

（1）　農業生産構造の強化

・ ㊐ 水稲から水田園芸への転換による農業収益力の向上

－　水田園芸の推進に向けた産地への支援　22,000 千円

新たな産地づくりに向けたプランの策定支援、
新たに水田園芸に取り組む農家への支援

・　県産米の消費拡大による農家の所得確保

－　県内外での県産米の魅力発信　60,000 千円

県内小売店での米農家応援キャンペーンの実施、
㊐キャラクターを活用した県外小売店でのキャンペーンの実施など

・　担い手の確保・育成、農業参入の促進

－　いしかわ耕稼塾による農業人材の確保・育成（一部再掲）　40,000 千円

㊐農業高校・県立大学との連携による生徒・学生への魅力発信・インターンシップ・
マッチング等の一貫支援、㊐外国人材の活用に関心のある農業法人向けセミナー
の開催、就農希望者に対する技術・経営研修など

－　いしかわ農業参入支援ファンド（200億円）による経営支援　87,000 千円

耕作放棄地等に参入する企業・農業法人への支援

－　ほ場整備の推進　3,621,983 千円

珠洲市宇治・森腰地区、七尾市佐味地区など

－　用排水施設等の整備促進　1,847,508 千円
白山市北星地区、野々市市郷用水第4地区など
－　河北潟周辺地区排水機場等の改修　849,662 千円
－　農業の生産基盤の強化（一部3月1次補正）　166,082 千円
農業機械の導入等に対する支援

・　担い手への農地集積
－　農地中間管理事業による農地集積の推進　354,000 千円
農地の出し手に対する集積協力金の交付
－ ㊨ データを活用した農地の効率的な利活用の推進　5,000 千円
担い手、農地等のデータを活用した市町の農地利用計画の策定支援

・　省力化に向けたスマート農業の展開
－ ㊨ スマート農業技術の普及促進　7,000 千円
スマート農業に関するワンストップ窓口の設置、
INATOを中心とした普及・定着に向けたマッチング等の伴走支援

（2）　農林水産物や里山里海資源のブランド化の推進

・　農林水産物のブランド化の更なる推進
－　「百万石の極み」を中心とした県産農林水産物の魅力発信と生産拡大
181,000 千円
㊨県内外での年間を通じた「百万石の極み」フェアの開催、
㊨東京駅での消費者を対象としたPRイベントの開催、海外での商標の取得など
－　特色ある県産食材の首都圏へ向けた販路開拓　19,500 千円
シェフ・バイヤー等を対象とした「いしかわ百万石マルシェ」の開催
－　県産農林水産物の輸出強化（一部再掲）　8,000 千円
㊩海外バイヤー・アンテナショップ等を通じた農林水産物の販路開拓、
㊨INATOやJETRO、輸出に関心のある農業法人等からなるネットワークの構築、
㊨輸出拡大に取り組む農業法人等に対する伴走支援

・　里山里海資源の付加価値向上
－　里山振興ファンド（180億円）による里山里海地域の振興　90,000 千円
地域資源を活用した新たな生業の担い手に対する支援、
事前調査から商品開発、改良・販路開拓までの一貫支援の実施、
㊨民間提案技術による耕作放棄地のトキ餌場化の実証、
㊨トキの生息環境づくりに取り組むモデル地区等でのボランティア受入支援
－ ㊨ トキ放鳥を契機とした米などの農林水産物のブランド化に向けた検討
2,000 千円
－　世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力発信　10,800 千円
㊨国内農業遺産認定地域が一堂に会するシンポジウムの開催（R5年秋）など

（3）　持続可能な農業・畜産業の体制づくり

・ ㊨ 環境保全型農業の推進
－　県内全域での推進に向けた生産対策と消費対策の実施　10,000 千円
環境保全型農業の生産から販売までのワンストップ窓口の設置、
消費者への理解促進イベントの開催、
学校給食での特別栽培米の提供や出前講座の実施

・　農村集落の営農継続に向けた体制強化
－ ㊨ 広域的な農業人材のマッチング等の仕組みづくり　1,000 千円
共同管理作業や農作業を支援する人材と集落等のマッチングなど

・　災害などに備えた農業セーフティネット対策の促進

－ ㊨ 収入保険制度への加入促進　12,000 千円

新規加入者に対する保険料助成（農家負担分の1／3）

・　畜産業の支援体制強化

－　県獣医師職員の確保対策　14,800 千円

獣医系大学生向け修学資金の給付、㊨大学受験生向け修学資金制度の創設、
㊨大学訪問による県主催就職説明会の開催など

・　金沢競馬場の魅力向上・整備促進（公営競馬特別会計）

－　㊨薄暮レースの通年実施や移転50周年を契機とした記念レースの実施など

－　老朽化したきゅう舎の建替（2棟）　681,000 千円

（4）　県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化

・　県産材の安定供給体制の構築

－　Jークレジット制度を活用した森林整備の促進（森林環境譲与税事業）

1,000 千円

㊨県有林のクレジット発行・販売（R5年秋）、㊨民有林向けマニュアルの作成

－　スマート林業の推進（森林環境譲与税事業）　6,000 千円

㊨再造林後の保育作業の機械化検証、
スマート林業人材の育成に向けたドローンや高性能林業機械の操作研修の実施

－　県産材の供給基盤の強化（3月1次補正）　400,000 千円

木材加工設備の導入に対する支援

・　林業従事者の確保

－　就業希望者の確保・担い手育成（森林環境譲与税事業）　28,000 千円

㊨高校生等を対象とした林業体験の実施、
㊨労働環境改善に向けた林業コンサルによる伴走支援、
㊨丸太生産技術の習得に向けた支援など

・　県産材の利用促進

－　住宅、民間施設の県産材使用に対する助成（いしかわ森林環境税事業）

80,000 千円

（5）　持続性のある水産業の実現

・　収益力向上に向けた水産資源の適切な管理やブランド化・魅力向上

－　首都圏でのいしかわの水産物の魅力発信　6,000 千円

東京駅でのPRイベントの実施、㊨国内最大級の水産物商談会への出展など

－　金沢港クルーズターミナルと連携したかなざわ総合市場の魅力発信　3,000 千円

セリ見学ツアーの開催、模擬セリ体験の実施

－ ㊨ かなざわ総合市場の建替整備支援　446,400 千円

－　漁業調査指導船「白山丸」の更新　債務を含め　2,200,000 千円

・　意欲ある人材の確保・育成

－　現地見学会・体験乗船会・移住予定者を対象とした長期研修の実施など

4,000 千円

3　**個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり**

（1）　個性と厚みのある文化の創造と発展

・ ㊨ G7富山・金沢教育大臣会合の開催

－　機運の醸成と開催周知　11,900 千円

シンポジウムの開催、日本郵便とタイアップしたPR、金沢市内の装飾・花の植栽

－　会合当日のおもてなしと魅力発信　18,100 千円
レセプションの開催、エクスカーションの実施（文化施設や教育機関など）

・　「いしかわ百万石文化祭2023」を契機とした石川の優れた文化の継承と発展

－ ㊐「いしかわ百万石文化祭2023」の開催（会期：10月14日～11月26日）
937,500 千円
大会に向けた気運醸成・参加意識の向上
国民文化祭大会旗の全市町巡回展示、100日前プレイベントの開催、
首都圏等での広報・PR
大会期間中の多彩なイベントの開催
開閉会式の開催（総合ディレクター・野村萬斎氏）、
チームラボによる金沢城公園における光のアート展などの実施（約150事業）

－ ㊐ 大会期間中の大規模な特別展の開催（県主催事業）　67,468 千円
「宮内庁三の丸尚蔵館名品展（仮称）」の開催（県立美術館、国立工芸館）、
「御殿の美展（仮称）」の開催（歴史博物館）

－ ㊐「宮内庁三の丸尚蔵館名品展（仮称）」に合わせた皇室文化の紹介　6,200 千円
雅楽の公演（能楽堂）、三の丸尚蔵館収蔵品の修復・展示（県立美術館）など

－ ㊐ 大会期間中の夜の賑わい創出（一部再掲）　15,000 千円
チームラボによる金沢城公園における光のアート展、文化施設の夜間開館、
国立工芸館・県立美術館・歴史博物館を同時投影するデジタル掛軸の実施など

－ ㊐ ポスト国民文化祭事業の検討　1,000 千円

・　文化に親しむ環境づくり

－　「いしかわ・金沢　風と緑の楽都音楽祭」の開催　58,000 千円
テーマ「東欧に輝く音楽～プラハ・ウィーン・ブダペスト～」、
㊐県内全市町での公演の開催

－ ㊐ オーケストラ・アンサンブル金沢設立35周年記念事業の実施　5,000 千円
県内全市町縦断コンサート

－ ㊗ 県立音楽堂での質の高い多彩な公演を通じた音楽文化の魅力発信　50,000 千円
伝統芸能とクラシックを融合させた舞台公演、一流の芸術家によるバレエ公演など

－　いしかわミュージックアカデミー（IMA）の開催　26,040 千円
国内外の著名な講師陣による若手音楽家の育成、
㊐IMA卒業生らによる25周年記念コンサートなど

－　「金沢芸妓の舞」の開催（文化振興基金）　5,000 千円

－　「観能の夕べ」の開催（文化振興基金）　6,000 千円

－ ㊐ 東京藝術大学と連携した文化・芸術による地域活性化　3,000 千円
いしかわ百万石文化祭2023における藝大生によるアート作品の制作・展示、
音楽堂における障害者向け音楽ワークショップ等の開催

－　県立図書館における文化・交流の機会の提供　32,000 千円
㊐北陸新幹線県内全線開業やいしかわ百万石文化祭2023に関連した企画展の実施、文化交流エリアでの各種イベントなど

－ ㊐ 茶道、華道等石川の伝統文化に関する調査の実施　3,000 千円

－ ㊐ 障害者アートの魅力の発信　8,000 千円
企業や公共施設への障害者アートの貸し出し・展示、
県庁舎内での障害者アートの常設展示

・　文化遺産の保存・活用

－ ㊐ 富山県、静岡県と連携した日本三霊山の魅力発信　3,000 千円
日本三霊山文化フォーラム（静岡市）への出展、写真展の開催（金沢駅）

－ ㊐ 尾小屋鉱山資料館リニューアルに向けた調査・検討　3,000 千円

－ ㊨ 妙成寺の国宝化に向けた気運醸成　1,000 千円
羽咋市と連携した現地ツアー、県内各地域でのパネル展の開催
－ ㊨ 知事公舎等の利活用に向けた本格的な検討　1,000 千円
「知事公舎利活用検討委員会」（R5年3月設置）による利活用策のとりまとめ

（2）　スポーツを通じた活力の創造

・　生涯にわたるスポーツ活動の振興
－　いしかわスポーツマイレージを活用したスポーツ人口の拡大　4,750 千円
－　パラスポーツの更なる裾野拡大　24,764 千円
障害者スポーツ大会の開催、スポーツフォーラムの実施、
トップスポーツチームによる特別支援学校でのパラスポーツ教室の開催など
－　スポーツ施設のリニューアル整備（3月1次補正）　848,952 千円
サッカー・ラグビー場のスコアボード・管理棟の改修、
いしかわ総合スポーツセンターのトレーニング機器更新など

・　競技スポーツの振興
－ ㊨「いしかわスポーツ医科学センター（仮称）」の設置（いしかわ総合スポーツセンター）
18,500 千円
怪我の予防などコンディショニング管理等を行う医科学サポート体制の整備
－　各種競技団体や中学生・高校生の競技力向上に対する支援　243,737 千円
㊨体力測定結果をもとにした専門家によるトレーニング・コンディショニング指導
－　国際大会等での活躍が期待される次世代アスリートの育成支援　10,000 千円
全国トップレベルの選手を日本代表選手等に育成するための支援
－　国際大会・全国大会等での活躍を目指すパラアスリートの育成支援　4,000 千円
－ ㊨ 日本体育大学と連携した高校生等の競技力向上　3,000 千円
指導者の招へい、日体大生・県内高校生の相互交流

・　スポーツを通じた地域活性化
－　アーバンスポーツなど多様なスポーツの振興　17,500 千円
㊨アーバンスポーツ競技団体の組織化に向けた連絡会議の開催、
体験イベントの開催（㊨eスポーツ体験会）、
㊨小中学校等におけるアーバンスポーツ教室の開催
－ ㊨ 石川ユナイテッドとの包括連携協定に基づくトップスポーツチームとの更なる連携強化
7,000 千円
各チームにおける「県民スペシャル応援デー」の開催など
－　トップスポーツチーム・学生連携による地域活性化　6,000 千円
各地域（金沢、加賀、能登）における健康増進、運動習慣化の取り組みの実施
－ ㊨「石川県スポーツ大使」の委嘱　1,000 千円
本県ゆかりのアスリートによるスポーツの魅力等の発信

・　オリンピック・パラリンピック大会レガシーの継承と発展
－ ㊨ 東京オリパラのレガシー活用によるスポーツ振興　2,750 千円
中学校におけるオリンピアンを講師とした授業の実施など

（3）　選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化

・　北陸新幹線県内全線開業に向けたアクションプランの推進
－　開業に向けた気運の醸成　39,500 千円
カウントダウンフォーラムの開催（加賀、能登）、新駅見学会の開催、
㊨試験車両歓迎イベントの開催、
㊨新幹線特別展の開催（県立図書館ほか加賀、能登）、
㊨開業直前イベントの開催（木場潟公園）

－ ㊨ 開業日イベントの開催（金沢駅、小松駅、加賀温泉駅）　26,700 千円
－　民間主体の先導的な取り組みに対する支援　59,000 千円

・　多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進
－ ㊨ いしかわ文化観光推進ファンドの創設（総額100億円）　県貸付額　5,000,000 千円
－ ㊨ いしかわ文化観光推進ファンド（100億円）による支援　70,000 千円
文化観光素材の発掘から磨き上げ、販売促進までの伴走型の一貫支援
－ ㊨ 文化観光推進人材の育成・連携促進　2,500 千円
いしかわ観光創造塾における文化観光推進人材の育成
－ ㊨ いしかわ文化観光スペシャルガイドの創設　1,000 千円
本県の文化の価値を分かりやすく伝える専門ガイドの登録とスキルの向上
－　最先端の映像技術を活用した文化資源の魅力発信　45,000 千円
都道府県立の美術館で初の8K高精細画像とCGを駆使した「VRシアター」の公開
（県立美術館）、㊨常設展示用音声ガイドのリニューアル（県立美術館、歴史博物館）
－ ㊨ 明治・大正レトロ文化発信拠点の開設（石川四高記念文化交流館）　54,398 千円
レトロミュージアムショップ（旧門衛所）、レトロ衣装体験ルーム（本館）
－　ミュージアムツーリズムの推進　3,000 千円
美術・工芸やレトロ建築などの鑑賞・体験ツアーの開催
－ ㊨ 県・金沢市の連携による兼六園周辺文化施設の共通デジタルパスポートの導入
4,000 千円
対象施設：兼六園、金沢城公園、金沢21世紀美術館、国立工芸館など（16施設）

・　北陸三県連携による誘客の促進
－　北陸三県連携による全国からの誘客強化　54,000 千円
大手旅行会社との連携による全国的な誘客キャンペーンの実施、
首都圏等のメディアに向けた観光PRの実施、
㊨北陸DC（R6年秋）に向けた全国宣伝販売促進会議の開催など
－ ㊨ 北陸三県連携による関西圏での情報発信拠点の整備（3月1次補正）
47,000 千円
－ ㊨ 北陸三県連携による台湾からの誘客強化に向けた観光情報の発信　3,000 千円

・　北陸新幹線県内全線開業の効果を活かした誘客キャンペーンの実施
－　北陸三県連携による全国からの誘客強化（再掲）　54,000 千円
－ ㊨ 北陸新幹線の県内新駅を核とする周遊観光の促進　5,000 千円
電動アシスト自転車を活用した周遊コースの造成など
－ ㊨ 北陸新幹線沿線自治体等と連携した広域観光ガイドブックの発行　4,500 千円
－　「いしかわ観光コンシェルジュ」を活用した誘客の推進　5,000 千円
㊨北陸新幹線敦賀延伸でより身近となる中国地方へ配置
－ ㊨ 本県ゆかりの企業や映画等との連携によるPR（一部再掲）　38,500 千円

・　ターゲットに応じた戦略的な誘客の推進
－ ㊨ コロナ禍によるニーズの変化に対応した新たな観光スタイルの開発促進
18,000 千円
スポーツ・アウトドア・産業観光などの観光コンテンツ開発への支援
－　修学旅行誘致の推進　12,500 千円
学校・旅行会社に対する誘致活動、
㊨加賀・能登地域での学生によるガイドプログラムの造成に対する支援

・　インバウンド再始動に向けた積極的な海外誘客の推進
－　アジアからの誘客強化（一部再掲）　37,800 千円
㊨小松・台北便の利用促進に向けた知事トップセールスの実施、
㊨北陸三県連携による台湾からの誘客強化に向けた観光情報の発信、
現地旅行博への出展、現地旅行会社の招へいなど

－　欧米豪からの誘客強化　30,700 千円
観光レップを活用した現地旅行会社への旅行商品造成の働きかけ、
報奨旅行誘致に向けたモニターツアーの実施など
－　クルーズ船の誘致と受入　63,080 千円
国際クルーズの再開を踏まえた積極的な誘致活動の推進など

・　インバウンドにおける高付加価値旅行者の誘客強化
－　外国人旅行者のニーズに対応した旅行商品の造成　10,000 千円
専門家による観光素材の磨き上げ、ガイドの育成など
－　高付加価値旅行者の誘客　39,000 千円
㊐米国観光レップによる現地メディアへの働きかけ、旅行会社の招へいなど

・　基幹産業としての石川の観光を担う人材の育成
－ ㊐ 文化観光推進人材の育成・連携促進（再掲）　2,500 千円

・　観光資源を活かした県土の魅力向上
－ ㊐ 白山総合車両所ビジターセンター（仮称）の整備支援　64,000 千円
－　いしかわ里山里海サイクリングルートの魅力向上・発信　225,000 千円
国のナショナルサイクルルート指定に向けた走行環境の整備、
㊐富山県境部のルート整備、㊐北陸三県合同モバイルスタンプラリーの開催
－　千里浜海岸の砂浜再生　286,911 千円
浚渫砂を活用した海上投入、養浜砂確保に向けた調査など

・　データを活用した効果的な観光施策の推進
－ ㊐ デジタルマーケティングを活用した観光情報発信の強化　115,100 千円
スマホの位置情報やSNSの情報等のビッグデータを活用した誘客プロモーション、
県観光HP「ほっと石川旅ねっと」の充実

（4）　交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤の更なる充実

・　北陸新幹線建設費負担金　920,000 千円

・　IRいしかわ鉄道の金沢以西延伸に向けた取り組み
－ ㊐ 鉄道資産の取得等に対する支援　9,800,000 千円
（JR西日本からの譲渡資産68億円、設備投資30億円）
－ ㊐ 経営規模拡大に向けた財政基盤の強化　700,000 千円
（20億円→30億円へ増資：県7億円、沿線市町3億円）
－　森本駅のエレベーター整備に対する支援　31,667 千円
－ ㊐ マイレール意識の醸成と利用促進　16,000 千円
IRいしかわ鉄道利用促進協議会（仮称）の設置、「まちのり（金沢市）」と連携した
通勤利用の促進、北陸三県周遊促進「開業記念キャンペーン」の実施、
富山県と連携したサイクルトレインのトライアル運行、
IRいしかわ鉄道によるサポーター制度の導入・マスコットキャラクターの制作・
北陸三県周遊促進企画切符の造成

・　幹線道路ネットワークの強化
－　広域交流ネットワーク道路の整備　～「ダブルラダー輝きの美知」構想の推進～
地域高規格道路等の整備　債務を含め　10,311,357 千円
能越自動車道
（輪島道路（のと三井IC～のと里山空港IC間（R5年内完成））、田鶴浜七尾道路）、
のと里山海道4車線化
（柳田IC～上棚矢駄IC間、㊐上棚矢駄IC～徳田大津JCT間）、
金沢外環状道路 海側幹線（金沢市大河端町～福久町間、今町～鞍月間）

広域交流幹線軸道路の整備　債務を含め　4,530,192 千円
珠洲道路（珠洲市正院町小路～蛸島町間）、
国道415号（羽咋バイパス（㊐R5年内完成））、
金沢東部環状道路（金沢市月浦町～神谷内町間（R5年内完成））など
交流・物流拠点連結道路の整備　債務を含め　3,503,217 千円
国道304号（清水谷バイパス（㊐R5年内完成））、
加賀海浜産業道路（白山市小川町～松本町間（㊐R6年春完成）、
松本町～川北町橘間（㊐用地補償着手）、㊐小松市城南町～村松町間）、
大聖寺道路（加賀市大聖寺敷地～大聖寺菅生町間）など
観光周遊道路の整備　1,458,498 千円
奥能登絶景海道（寺家バイパス）、
山代粟津線（加賀市山代温泉神明町～上野町間（㊐R6年春バイパス部供用））など
地域間交流道路の整備　422,092 千円
国道249号（輪島市縄又町）など

－　市街地の交通渋滞の解消　486,165 千円
兼六園下交差点改良（㊐R6年春完成）、
新県立図書館アクセス道路（㊐R5年夏完成）、
㊐泉野々市線・西金沢駅通り線（金沢市西泉～米泉町間）など

・　安心して快適に移動できる公共交通の実現
－　IRいしかわ鉄道の乗継割引・運賃値上げ抑制への支援　150,000 千円
－　のと鉄道運行維持への支援　75,850 千円
－　生活路線バス運行維持への支援　308,500 千円
－　へぐら航路の運航維持への支援　22,000 千円

・　港湾機能の充実による交流促進
－ ㊐ 金沢港の将来ビジョンの策定　158,000 千円
長期的視点に立った港の目指すべき姿の検討、海象や生態等の環境調査
－　金沢港・七尾港におけるカーボンニュートラルポートの形成　58,700 千円
㊐ふ頭照明のLED化、㊐港湾上屋における太陽光発電設備の導入可能性調査
－　大浜国際物流ターミナルの整備など　792,290 千円
大水深岸壁の整備（航路泊地、西防波堤）
－　大田国際物流ターミナルの整備　536,005 千円
大水深岸壁の整備など

・　小松空港の日本海セントラルゲートウェイ化
－　小松空港中期ビジョンの策定　5,000 千円
－　航空の優位性を活かした国内線の利用促進　102,000 千円
㊐デジタルスタンプラリーの実施、
㊐金沢以南・福井嶺北の企業を対象としたキャンペーンの実施、
㊐ウェブ媒体を活用した羽田乗継利用の促進など
－　国際旅客便の利用促進（一部再掲）　44,860 千円
㊐小松・台北便の利用促進に向けた知事トップセールスの実施、
小松・台北便を活用した双方向の旅行商品造成支援、
香港・タイ航空会社等へのセールス
－　国際物流拠点化の推進　22,700 千円
医薬品の取扱量増加に向けた展示会への出展、輸送トライアルへの助成など

・　のと里山空港の交流拠点としての更なる活性化

－　安定需要の確保に向けた利用促進活動の展開　192,500 千円

能登の食・奥能登国際芸術祭等を活用した旅行商品の造成支援、
㊐能登地域を周遊するイベントの実施、㊐20周年記念式典・イベントの実施、
㊐航空会社と連携した20周年記念ツアーの造成など

－ ㊐ のと里山空港における脱炭素化推進計画の策定　16,000 千円

（5）　地域活力の向上に向けた移住・定住の促進

・　一人ひとりのニーズに寄り添ったきめ細かな支援による石川への移住・定住の促進

－　情報発信の強化（一部再掲）　60,158 千円

㊐子育て情報誌やウェブメディアと連携した子育て世帯向けのPR強化、
㊐移住起業をテーマとしたセミナーの開催など

－　移住体験機会の提供（一部再掲）　40,630 千円

お試しテレワーク移住への助成、
㊐移住希望者と地域との交流プログラムの実施など

－　受入体制の充実　32,164 千円

移住支援金の交付（世帯100万円、単身60万円、㊎子加算30万円→100万円）

・　多様な暮らし方・働き方への志向の高まりを捉えた新たな人の流れの創出　6,500 千円

テレワーク移住の推進、㊐移住起業をテーマとしたセミナーの開催（一部再掲）

（6）　個性豊かな地域づくり

・　金沢城二の丸御殿の復元整備

－　「表向」主要部の第1期整備　221,000 千円

実施設計（R5年度内完了）、障壁画の再現に向けた構図の検討や下絵の作成など

－　御殿復元に向けた気運の醸成　68,000 千円

㊐三十間長屋修理現場等の体験ツアーの実施、㊐御殿のVR映像の制作・公開、
㊐金沢城公園の情報発信計画の策定など

・　金沢城三十間長屋の保存修理　136,000 千円

鉛瓦屋根の全面葺替（R5年度末完成）

・ ㊐ 金沢城石垣の魅力発信　5,000 千円

石垣の価値と特徴を解説する動画の作成・配信など

・ ㊐ 妙成寺の国宝化に向けた気運醸成（再掲）　1,000 千円

・　西部緑地公園の再整備

－　構想の策定（㊐PPP／PFI導入可能性調査）、測量の実施　70,600 千円

・　地域の魅力を活かした賑わいのあるまちづくり

－　兼六園来園者へのおもてなしの向上　100,000 千円

桂坂、蓮池門、真弓坂料金所のリニューアル整備（R5年秋完成）

－ ㊐ 知事公舎等の利活用に向けた本格的な検討（再掲）　1,000 千円

－　木場潟公園の魅力の向上　82,016 千円

㊐潟・桜・新幹線を一望できる展望デッキの整備（中央園地）

－　開園50周年と北陸新幹線県内全線開業を見据えた森林公園の魅力アップ

債務を含め　1,937,300 千円

バーベキュー場・フィールドアスレチックなどの改修（R5年5月オープン）、
㊐開園50周年記念式典の開催（MISIA氏を名誉園長に委嘱）、
いしかわ動物愛護センターの整備（R6年春オープン）、
屋内木育施設の整備（R6年夏休み前オープン）など

－ ㊐ のとじま水族館の魅力アップに向けた検討　10,000 千円

有識者による検討会での中長期的な整備構想の策定

－　無電柱化を核とした街なみ景観形成　債務を含め　1,495,063 千円
河井町横地線（輪島市河井町～杉平町地区）、㊐南通り線（羽咋市川原町地区）、
堀川東金沢線（金沢市堀川町地区（㊐R6年春完成））など

（7）　世界に開かれた国際交流の推進

・　世界の各地域との多様な国際交流・国際協力の推進

－　「石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム」の本格的な再開　36,500 千円
㊐ホームステイボランティアの拡大に向けた小中学生親子との交流会の開催など

－ ㊐ 外国人住民の支援体制の強化（一部再掲）　12,000 千円
オンライン日本語教室の実施、市町の多文化交流事業への支援、
外国人住民の生活実態やニーズ調査の実施

－ ㊐ 外国人労働者の確保・定着支援（再掲）　10,000 千円

－　外国人介護人材の受入支援（再掲）　11,140 千円

－ ㊐ 外国人農業人材の受入支援（再掲）　1,000 千円

4　石川の未来を切り拓く人づくり

（1）　次世代を担う人材の育成

・　いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成

－ ㊐ 地域の特色を活かしたふるさと教育の推進　10,000 千円
地域の教育資源やふるさとの偉人を学ぶフィールドワーク等の実施、
石川県版教科書「ふるさと石川」の改訂・デジタル化（～R6年度）

－ ㊐ ものづくり高校の魅力発信の強化　4,000 千円
中学生、保護者、中学校教員を対象とした工業系高校での体験・説明会の開催、
魅力発信のための動画の作成

－　企業と連携したアントレプレナーシップ教育（企業家教育）の推進　2,500 千円
㊎能登地区の高校での実践的な指導、ビジネスプラン作成（5校→7校）

・　学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成

－　きめ細かな指導体制の充実
㊐国の計画を1年前倒しした35人学級の実現（R5小学校5年生、R6小学校6年生）

－　小・中学校における学力向上対策の推進
学力向上プログラムの推進　12,572 千円
金沢大学と連携した学力向上に向けた分析・改善など

－　GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上
教員のICT活用指導力の向上　6,500 千円
リーダー校における優れた指導法の他校への普及（小中学校）、
教科別プロジェクトチームにおける指導法の研究（高等学校）など

－ ㊐ 県立高校におけるSTEAM教育の推進　2,000 千円
県内大学や企業と連携した推進チームにおける研究、モデル校での試行、
教員向けフォーラムの開催など

－　いしかわ特別支援学校高等部の新校舎の建設　債務を含め　7,103,615 千円
㊐工事着手（R7年4月開校予定）

－　特別支援学校における農業分野への就労促進　2,500 千円
農業法人と連携した実践的な実習（㊐農業高校との連携）

・　豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり

－　児童生徒への相談体制の充実　191,058 千円
小・中・高等学校全校へのスクールカウンセラーの配置、
㊎スクールソーシャルワーカーの配置（14人→16人）、
㊐別室登校児童生徒へ対応する専任教員の配置（10校）など

－　休日の部活動の地域移行に向けた体制構築・実証　23,000 千円
公立中学校の運動部、文化部

・　信頼される質の高い学校づくり
－ ㊨ 県立夜間中学の開校（R7年4月）に向けた着実な準備　2,000 千円
入学ニーズ調査の実施、気運醸成のためのシンポジウムの開催など
－　県立学校の計画的な大規模改修（大聖寺高等学校など8校）　1,074,160 千円
－　県立学校衛生環境整備の推進　550,000 千円
トイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化（R5年度完了）
－　子どもの送迎バスの安全対策（3月1次補正）　12,760 千円
送迎バスでの置き去り防止のための安全装置の導入支援（市町立小・中学校）
－　通学路の安全対策の推進　4,400 千円
通学路安全対策アドバイザーの市町への派遣、教職員対象の防犯講習会の開催、
㊨市町による見守りボランティアと連携した新たな取り組みへの支援
－ ㊩ スクール・サポート・スタッフの配置　286,107 千円
小規模校も含めた小・中・高・特別支援学校全校への配置
－ ㊩ 部活動指導員の配置（130人→164人）　46,502 千円
外部人材による指導・引率の実施
－　県立学校におけるICT支援員の配置　91,744 千円
－ ㊨ 門前高等学校生徒寮の運営支援　5,000 千円

・　建学の精神を尊重した私学の振興
－　私立学校の経常費助成　3,842,844 千円
－　私立学校の教育施設・設備整備に対する支援　106,889 千円

・　教員の資質・能力の向上
－　いしかわ師範塾による即戦力となる人材の育成と確保　10,698 千円

（2）　地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展

・　高等教育機関の多様な「学び」の推進
－　大学コンソーシアム石川を核とした「学び」の充実　16,441 千円
いしかわシティカレッジによる学生の履修機会の充実
－　看護大学におけるデジタル環境の整備（3月1次補正）　24,000 千円
㊨デジタル教科書の導入、㊩デジタル機器を活用した実習室の機能強化など

（3）　人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

・　生涯にわたり学び続ける環境づくり
－　県民大学校による生涯学習機会の提供　39,595 千円
教養・専門講座の開催など

・　文化・交流機会の提供
－　県立図書館における文化・交流の機会の提供（再掲）　32,000 千円

5　温もりのある社会づくり

（1）　安心して子どもを産み育てることができる環境の充実

・　結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援の充実
－　結婚を希望する若者に対する出会いの機会の提供（あいきゅん）　31,495 千円
㊨「いしかわ縁結びマッチング」システムの運用（R5年3月21日～）、
「縁結びist」による支援、婚活イベントの開催など
－　結婚にかかる経済的負担の軽減　4,000 千円
「石川しあわせ婚応援パスポート」の制度拡充による支援の強化
（㊩利用期間の延長：入籍前後各1年→各2年、㊨協賛店舗の顕彰制度の創設）

・　安心して子どもを産み育てるための母子の健康の確保及び増進

－ ㊨ 赤ちゃん協議会を踏まえた妊娠・出産のサポート

（産科医不足地域の体制強化）

市立輪島病院における産科医複数体制の構築

母体の救急搬送時の安全性向上に向けた遠隔分娩監視システムの導入支援

10,250 千円

（産科医の養成と確保）

若手産科医を養成する循環型サイクルの構築　30,000 千円

大学等との連携による県立中央病院で臨床経験を重ねた医師が県下全域で勤務する体制整備への支援

（妊産婦にやさしい環境整備）

「いしかわ妊娠・出産サポートセンター（仮称）」の設置　12,500 千円

助産師による専門相談支援、

里帰り妊婦への個別訪問等によるプッシュ型の相談支援など

－　不妊治療の経済的負担の軽減　15,677 千円

保険適用外の先進医療に係る費用の7割を助成

・　子育てに関する負担の軽減・子育て世帯への経済的支援

－　保育料や放課後児童クラブ利用料の無料化　187,738 千円

－　子2人以上世帯へのプレミアム・パスポートの発行　6,000 千円

－ ㊨ 市町の子育て支援施策の充実に向けた乳幼児医療費助成制度の拡充

587,000 千円

助成対象年齢の拡大（通院：3歳まで→就学前まで）、所得制限の撤廃

・　社会的支援の必要性が高い子ども・家庭への支援

－ ㊨ 子どもの権利擁護に向けた「いしかわ子ども総合条例」の改正

ヤングケアラーや子どもの貧困、未就園児の支援に関する規定を追加

－　ヤングケアラーへの支援　27,287 千円

㊨保護者の心理的ケアを行うカウンセラーの配置（6名）、

㊨子どもに対するピアサポートの実施など

－ ㊨ 子ども食堂への支援　3,000 千円

開設準備への支援、開設・運営のノウハウを伝授するアドバイザーの派遣など

－ ㊨ 民間団体と連携した離婚前後の親に対する支援の強化　1,200 千円

養育費や面会交流の取り決めに向けた講座の開催、個別相談の実施など

・　幼児教育・保育サービスの充実

－　在宅育児家庭に対する支援　29,904 千円

マイ保育園を活用した妊娠期からの相談支援、

3歳未満児を持つ在宅育児家庭に対する通園に準じた保育サービスの実施

－　東京大学と連携した幼児教育・保育の質の向上　4,000 千円

㊨集団教育の考え方が明確に示されていない0～2歳児の教育ガイドラインの作成

－ ㊨ 障害児保育の充実　44,600 千円

障害児の受け入れに対して保育士を加配する保育所等への支援

－　保育士の確保対策　68,619 千円

学生向け保育所等就職説明会の開催、修学資金・就職準備金の貸与など

－ ㊨ 奥能登地域の保育士確保対策の強化　2,850 千円

修学資金の上乗せ（月額5→10万円）、保育補助者の保育士資格取得への支援

・　仕事と家庭の調和（ワークライフバランス）の推進

－　一般事業主行動計画の策定促進　9,856 千円

社会保険労務士による計画策定支援

－ ㊐ 男性の育児休業取得の促進　6,200 千円
企業の課題解決に向けた社会保険労務士の派遣、
モデル事例を盛り込んだ実践的なマニュアルの作成
－ ㊐ 家事アウトソーシングの普及啓発　1,000 千円
家事代行サービス活用の普及啓発の実施

(2)　生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

・　生涯を通じた健康づくり、生きがいづくりの推進
－ ㊐ eスポーツによる認知症予防の推進　2,300 千円
eスポーツ体験会のモデル開催（県内3カ所）
－ ㊐ がん対策におけるアピアランスケアの充実　6,000 千円
ケア用品（ウィッグ・乳房補正具）の購入に対する支援、
医療・美容の連携による支援体制の構築など

・　介護・福祉サービスを支える人材の確保・質の向上
－　参入の促進（一部再掲）　105,913 千円
福祉人材センターによる介護・福祉人材のマッチング支援、
修学資金・就職準備金の貸与、介護職を目指す留学生に対する学費への支援、
㊐外国人の雇用を検討する介護事業者向けのセミナー・個別相談会の開催など
－　定着の促進・質の向上（一部再掲）　226,400 千円
魅力ある職場づくりに取り組む事業所の認定、ICT・IoT機器導入への助成、
外国人介護人材の日本語学習経費への支援など

・　地域包括ケアシステムの構築
－　民生委員の担い手確保・活動促進　2,000 千円
㊐民間企業の退職者への働きかけ、
㊐働きながら活動する民生委員の事例調査・分析と普及、
㊐ひきこもりやヤングケアラーなどの課題別研修の実施

・　認知症施策の推進
－ ㊐ eスポーツによる認知症予防の推進（再掲）　2,300 千円

(3)　全ての県民への必要な医療の提供

・　地域医療の確保に向けた医療従事者の確保・資質の向上
－　金沢大学医学類特別枠入学者への修学資金貸与　144,000 千円
－　能登北部公立4病院に就業希望の看護学生への修学資金貸与　91,992 千円
－　看護大学における認定看護師教育課程の開講準備　18,000 千円
㊐在宅医療での質の高い看護に向けた「皮膚・排泄ケア課程」（R6年度開講）
－ ㊐ 能登地域の病院薬剤師の確保
大学病院と連携した人材育成プログラムの創設、奨学金返済支援制度の創設

・　地域における周産期医療の確保
－ ㊐ 母体の救急搬送時の安全性向上に向けた遠隔分娩監視システムの導入支援（再掲）
10,250 千円
－ ㊐ 若手産科医を養成する循環型サイクルの構築（再掲）　30,000 千円

・　地域の医療機関相互の機能分担・連携強化
－　ドクターヘリ運航による救急医療体制の確保　333,343 千円

・　在宅医療の充実
－ ㊐ 看護大学における認定看護師教育課程の開講準備（再掲）　18,000 千円

・　自殺対策・ひきこもり対策などこころの健康づくり
－　県立こころの病院の整備　401,000 千円
管理診療棟の改築（㊐R5年10月完成）

－　官民連携による県内全域でのひきこもり対策の推進　12,677 千円
コーディネーターを配置したひきこもり支援拠点での相談・訪問支援など

(4)　誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり

・　障害のある人もない人も共に暮らしやすい地域づくりの推進
－ ㊐ 障害者アートの魅力の発信（再掲）　8,000 千円
－　いしかわ特別支援学校高等部の新校舎の建設（再掲）　債務を含め　7,103,615 千円
－　特別支援学校における農業分野への就労促進（再掲）　2,500 千円

・　外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりの推進
－ ㊐ 外国人住民の支援体制の強化（再掲）　12,000 千円

・ ㊐ 新たな社会福祉会館の在り方の検討　1,000 千円

(5)　男女が共に活躍できる社会の実現

・　あらゆる分野における女性の活躍推進
－　県内企業の成長に向けた女性の更なる活躍の推進（再掲）　8,000 千円
－ ㊐ 女性の多様な働き方への支援（再掲）　10,000 千円
－ ㊐ 家事アウトソーシングの普及啓発（再掲）　1,000 千円

・　安全・安心な暮らしの実現
－ ㊐ 困難な問題を抱える女性への支援に関する計画の策定　1,000 千円
困難女性支援法（R6年4月施行）に基づく基本計画の策定

6　安全・安心かつ持続可能な地域づくり

(1)　災害に負けない強靭な県土づくり

・　R4年8月の豪雨災害を踏まえた流域治水の本格的な実践
－　抜本的な対策である河川改修の促進（県下全域18河川）
債務を含め　8,730,141 千円
西川（㊐工事着手）、米町川・御祓川・高橋川（㊐上流区間の調査着手）
－　梯川水系での改良復旧による治水機能の強化　1,225,259 千円
鍋谷川、滓上川、㊐仏大寺川における護岸嵩上げ等の河川改良
－　即効性のある河川の堆積土砂の除去　110,000 千円
計画的な堆積土砂除去の実施（県下全域27河川）
－ ㊐ 小規模河川における堤防の強化　200,000 千円
人家が連担する区間の堤防上部の舗装（5か年で県下全域26河川）
－　砂防地すべり・治山対策、森林整備　2,427,967 千円
－　老朽化したため池の改修　395,872 千円
－　農地・農業水利施設の整備（一部再掲）　6,310,031 千円
ほ場整備の推進、用排水施設等の整備促進
－ ㊐ 田んぼダムの効果算定・検証（梯川水系・犀川水系）　20,000 千円
田んぼダムを実施した場合の排水抑制効果の算定、試験田による検証
－ ㊐ ため池の事前放流　8,000 千円
事前放流に適したため池の選定、モデルため池での効果検証
－ ㊐ 排水機場による事前排水　2,000 千円
木場潟の事前排水による水位低下量調査、農業用水への影響調査
－　小規模河川における洪水浸水想定区域図の作成（R5出水期までに公表）

・　災害に強いまちづくり

－　緊急輸送道路の整備（再掲）　債務を含め　18,514,214 千円

能越自動車道

（輪島道路（のと三井IC～のと里山空港IC間（R5年内完成））、田鶴浜七尾道路）、

のと里山海道4車線化

（柳田IC～上棚矢駄IC間、㊨上棚矢駄IC～徳田大津JCT間）、

国道415号（羽咋バイパス（㊨R5年内完成））、

金沢外環状道路 海側幹線（金沢市大河端町～福久町間、今町～鞍月間）、

加賀海浜産業道路（白山市小川町～松本町間（㊨R6年春完成）、

松本町～川北町橘間（㊨用地補償着手）、㊨小松市城南町～村松町間）など

－ ㊨ GPSを活用した除雪業務の効率化、見える化　50,000 千円

除雪業務記録作成のデジタル化や除雪状況を一般公開する管理システムの構築

－　県水送水管の耐震化（2系統化）　4,000,000 千円

－　海岸侵食対策（一部再掲）　274,405 千円

増穂浦海岸、押水羽咋海岸、七塚海岸、金沢海岸

－　住宅の耐震化促進　45,000 千円

－　民間大規模建築物の耐震化促進　38,735 千円

－　農業用施設の防災対策（一部再掲）　1,024,715 千円

白山市山島用水地区など

－　河北潟周辺地区排水機場等の改修（再掲）　849,662 千円

－　砂防地すべり・急傾斜地崩壊対策（一部再掲）　2,915,020 千円

小松市定者谷川など

－　治山対策（一部再掲）　1,203,308 千円

輪島市深田地区など

－　いしかわ森林環境税による森づくりの推進（一部再掲）　462,610 千円

里山林における緩衝帯の整備、放置竹林の除去、県産材の利用促進など

－　森林環境譲与税による市町の森林整備に対する支援（一部再掲）　63,000 千円

市町支援アドバイザーの設置、㊨再造林後の保育作業の機械化検証など

－ ㊨ 倒木による停電等への対策　50,000 千円

倒木被害の未然防止に向けた市町による立木の事前伐採への支援

・　災害対応力の基盤強化と自助・共助による地域防災力の向上

－　自主防災組織の要となる防災人材の育成強化・資質向上　43,125 千円

防災士の育成・スキルアップ研修の実施、

㊨町会長等を対象とした地域防災トップリーダー研修の実施など

－ ㊨ 大学と連携した防災人材の育成　2,000 千円

シティカレッジの枠組みを活用した学生防災士の育成、

防災活動の輪を広げるフォーラムの開催

－ ㊨ 地震被害想定の見直し　債務を含め　120,000 千円

最新の知見や社会情勢の変化等を踏まえた見直し

－ ㊨ 被災者支援システムの導入　80,000 千円

災害時における市町の被災者支援業務への支援

－ ㊨ 防災DXによる災害対応力の強化　17,039 千円

SNS等を活用した情報収集、石川県防災ポータルの機能充実など

－　白山火山防災対策の推進　5,000 千円

㊨民間アプリを活用したスマートフォンによる登山届の提出促進など

－　消防学校を核とした総合的な防災拠点の整備　15,000 千円

㊨基本構想の策定

－ ㊐ 災害ボランティアセンターの運営力強化　6,800 千円
ボランティアの登録・受付・管理のデジタル化による省力化・効率化、
運営訓練の実施など
－ ㊐ 全国女性消防団員活性化石川大会の開催支援（R5年11月）　5,000 千円
活動事例発表、記念講演など

（2）　安心して快適に暮らせる地域づくり
・　県有施設の適切な維持管理
－　県有施設の計画的な長寿命化対策の実施（一部3月1次補正）（一部再掲）
2,777,370 千円
㊐県民等利用施設（武道館など13施設）、県立学校（大聖寺高等学校など8校）、
警察施設（金沢東警察署など8施設）
・　快適に暮らせるまちづくり
－　無電柱化を核とした街なみ景観形成（再掲）　債務を含め　1,495,063 千円
－　生活に密着したきめ細かな道路・歩道環境整備　3,460,364 千円
幹線道路の舗装補修、通学路等の側溝蓋掛けによる歩道整備など
－ ㊐ SNSを活用した道路の適切な維持管理　1,000 千円
損傷箇所の迅速な修繕につながる県民からの通報システムの構築
・　県民総ぐるみによる交通安全活動の推進
－ ㊐「石川県飲酒運転の根絶に関する条例」の制定
－ ㊐ 飲酒運転の根絶に向けた取り組みの強化　3,000 千円
飲食店等を対象とする「飲酒運転根絶宣言登録制度」の創設、
「飲酒運転根絶の日」（12月11日）の制定など
－　自転車の安全で適正な利用の推進　3,000 千円
㊐ヘルメット着用・保険加入の促進に向けたPRなど
・　犯罪のないまちづくりの推進
－　警察施設の整備（一部3月1次補正）　315,582 千円
㊐寺町交番、㊐町野駐在所など
－ ㊐ サイバー空間の脅威への対応強化　5,000 千円
官民連携によるサイバーセキュリティ合同訓練の実施、
外部専門家を活用した企業等への効果的な対策情報の提供など
－　犯罪被害者等支援の推進　10,503 千円
県民フォーラムの開催、市町・関係機関に対する研修など

（3）　持続可能な循環型社会づくり
・　カーボンニュートラルに向けたあらゆる主体による実践
（家庭部門）
－ ㊐「いしかわ省エネ家電購入応援キャンペーン」の実施（3月1次補正）（再掲）
480,000 千円
－　「いしかわエコハウス」の機能強化（一部3月1次補正）　97,400 千円
㊐最新の省エネ設備やソーラーカーポート等の整備によるZEH化、
㊐エネルギー消費量等の見える化、㊐「うちエコ診断」の実施、
㊐電気自動車のバッテリーをリサイクルした外部給電不要な自律型街路灯の整備、
㊐ひゃくまんさんを活用した情報発信など
－　ZEH等の普及促進　89,900 千円
ZEH等の新築、開口部の省エネリフォームへの支援など

－　県民一丸となった取り組みに向けた気運の醸成　12,500 千円
環境フェア・「いしかわゼロカーボンの日」イベント（一斉ライトダウンの呼びかけなど）の開催、地元スポーツイベントを活用した啓発

（運輸部門）

－　電気自動車等の普及促進　81,000 千円
㊐住宅用充電設備設置への支援、電気自動車等の購入に対する支援

（業務・産業部門）

－ ㊤ GX（省エネ・再エネ）設備の導入支援（3月1次補正）（再掲）　500,000 千円
－ ㊐ 省エネ・脱炭素化に対応した特別融資の創設（再掲）　融資枠　100 億円
－ ㊐ 産学官連携による炭素繊維分野における革新的な研究開発の推進（再掲）　200,000 千円
－ ㊐ 工業試験場におけるGXに向けた研究開発（再掲）　100,000 千円
－ ㊐ 脱炭素化に資するエネルギー技術や新素材の研究開発への支援（成長戦略ファンド）（再掲）
－ ㊐ 産業分野ごとの課題に対応したGXの推進（機械・繊維・食品）（再掲）　7,500 千円
－ ㊐ 経営層を対象としたGXセミナーの開催（再掲）　3,000 千円
－ ㊐ 事業者の脱炭素化へのサポート（再掲）　15,400 千円
－　民間企業の再生可能エネルギー事業への参入促進（再掲）
－　いしかわエコデザイン賞の進化（再掲）　5,600 千円
－ ㊐ 春蘭の里における「ゼロカーボンビレッジ」の普及啓発（再掲）　30,000 千円
－ ㊐ 「ゼロカーボンドライブプロジェクト」による水素エネルギーの普及啓発（再掲）　10,000 千円

（県庁の率先垂範）

－　県庁における温室効果ガス排出削減の加速化（一部3月1次補正）
債務を含め　5,475,505 千円
太陽光発電設備の設置（工事着手：2施設、実施設計：5施設）、
照明のLED化（工事着手：6施設、実施設計：21施設）、
公用車への環境配慮車の導入促進（40台更新）
－　金沢港・七尾港におけるカーボンニュートラルポートの形成（再掲）　58,700 千円
－ ㊐ 土木インフラ施設における再生可能エネルギーの導入可能性調査（一部再掲）　23,000 千円
港湾上屋・流域下水道処理場・県水浄水場（太陽光）、
県水調整池・供給点（小水力）
－ ㊐ のと里山空港における脱炭素化推進計画の策定（再掲）　16,000 千円
－　本県の特色ある環境施策の県内外への発信
㊐グリーンボンド（全国型市場公募地方債）の発行

（森林吸収源対策）

－　Jークレジット制度を活用した森林整備の促進（森林環境譲与税事業）（再掲）　1,000 千円

・　3Rの推進による循環型社会の形成
－　プラスチック資源循環の推進　3,000 千円
㊐業界団体等による廃プラスチックリサイクルに向けたモデル事業への支援

・　豊かな水資源や良好な環境の将来世代への継承
－　県民参加による海岸清掃活動の促進　3,000 千円
㊐楽しみながら清掃活動を行う「ごみ拾い・GPSアートコンテスト」の開催など

（4）　自然と人とが共生できる社会づくり

・　持続可能な自然環境の構築

－　トキと人との共生に向けた取り組みの推進（ロードマップに基づく「実行元年」）

生息環境の整備促進（一部再掲）　67,600 千円

餌となる生き物の生息環境調査の実施、

「トキ放鳥推進モデル地区」（9地区）への支援、

㊨民間提案技術による耕作放棄地の餌場化の実証、

㊨営巣候補地の選定（9カ所）など

社会環境の整備促進（一部再掲）　18,000 千円

㊨「いしかわトキの日」（5月22日）の制定、

住民の理解促進に向けたシンポジウムの開催、

㊨トキの生息環境づくりに取り組むモデル地区等でのボランティア受入支援など

トキとの共生を活かした地域活性化の推進（一部再掲）　8,000 千円

㊨ブランド戦略策定等に向けた専門委員会の設置、

㊨米などの農林水産物のブランド化に向けた検討など

佐渡にない課題の解決に向けた取り組みの推進　10,000 千円

㊨風力発電施設や害獣対策用電気柵の課題対応に向けた研究

－ ㊨ 生物多様性戦略ビジョンの改定　10,000 千円

・　県民理解と利用促進を通した自然公園の保護と利用の好循環の形成

－ ㊨ 白山の魅力向上・発信の強化（一部3月1次補正）（一部再掲）　108,000 千円

市ノ瀬ビジターセンター駐車場の整備、

登山道の誘導標識等の整備、別当出合登山センターの備蓄用品の整備、

白山登山への入門編としての低山ガイドツアーの提供、戦略検討会の開催、

民間アプリを活用したスマートフォンによる登山届の提出促進など

・　種の保存と適切な野生鳥獣の保護管理

－　狩猟者の確保・定着の促進　4,000 千円

㊨アウトドアイベントなどでの狩猟ブースの出展、

㊨狩猟仲間との交流の場「いしかわハンタークラブ」の発足

・　人と動物が共生することができる社会の実現

－　いしかわ動物愛護センターの整備（R6年春オープン）（再掲）　1,225,000 千円

㊨屋根付きの広場を備えた北陸最大級のドッグランなど

－　殺処分ゼロを目指した取り組みの推進　2,000 千円

ボランティアの育成、譲渡会の開催など

7　社会全体のデジタル化の推進

（1）　DXに向けた環境整備

・　客観的データなどの根拠に基づく取り組みの充実

－ ㊨ EBPMの手法の本格的な導入　6,017 千円

データに基づく施策立案の推進に向けた職員研修の実施、

職員によるEBPMの実践を支援する高度なデータ分析を行う専門家の配置など

－ ㊨ デジタルマーケティングを活用した観光情報発信の強化（再掲）　115,100 千円

・　様々な分野のデータを活用した新たなサービスの創出

－ ㊨ 様々な分野のデータをつなぐ石川県広域データ連携基盤の整備（3月1次補正）

290,000 千円

県民のニーズや属性に応じたきめ細かなサービスを創出するための基盤構築

－ ㊨ GPSを活用した除雪業務の効率化、見える化（再掲）　50,000 千円

（2）　産業・暮らしのDX推進

－　早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT／AI石川スクール」の開催（再掲）

26,000 千円

－　座学から現場実践までを行うデジタル化実践道場の開講（再掲）　22,000 千円
－ ㊨ デジタル技術とデザインを活用した提案力の強化（再掲）　5,000 千円
－ ㊨ デジタル分野でのリスキリングの推進に向けた県内大学との連携（再掲）
30,000 千円
－ ㊩ 離職者向け職業訓練におけるデジタル分野の拡充（240人→380人）（再掲）
120,000 千円
－ ㊨ デジタル技術を活用した新たなビジネスモデル構築等への支援（成長戦略ファンド）（再掲）
－ ㊨ デジタルものづくり拠点「石川ものづくりDX推進センター」の整備（3月1次補正）（再掲）
445,000 千円
－　ものづくり企業の5G活用の推進（再掲）　7,700 千円
－　DX設備の導入支援（3月1次補正）（再掲）　400,000 千円
－ ㊨ 知的財産の活用促進（再掲）　3,500 千円
－ ㊨ 被災者支援システムの導入（再掲）　80,000 千円
－ ㊨ 防災DXによる災害対応力の強化（再掲）　17,039 千円
－ ㊨ SNSを活用した道路の適切な維持管理（再掲）　1,000 千円

（3）　行政のDX推進

－　県庁における「デジタルワークスタイル」の実現（一部3月1次補正）　294,205 千円
㊨職員同士のコミュニケーションの活性化等につながるフリーアドレスの順次導入、
㊨多様な働き方を見据えたパイロットオフィスの整備、㊩テレワークシステムの整備
（2，200人分→4，600人分）、㊨資料の全文検索システムの導入、
出先機関における庁内ネットワークの無線化（㊨直江庁舎など10施設）など
－　デジタル人材の育成　1,000 千円
㊨「ITパスポート」の取得促進に向けた入門研修の実施
－　電子決裁の推進　42,000 千円
㊨更なる業務効率化につながる新たなシステムの構築（R6年2月運用開始）
－　看護大学におけるデジタル環境の整備（3月1次補正）（再掲）　24,000 千円
－ ㊨ 市町におけるデジタル化の加速への支援　30,000 千円
市町の基幹業務システムの標準化とガバメントクラウドの活用に向けたワークショップの開催、専門家による助言・相談体制の構築

Ⅲ　計画的な行財政運営の推進

（1）　柔軟かつ機動的な組織づくりと人材の育成・確保

－　組織のパフォーマンスの向上と主体的なキャリア形成の推進（一部再掲）
㊨戦略的な広報の推進に向けた研修、女性職員キャリア支援研修、
㊨職員のデータに基づく施策立案の推進に向けた研修、
㊨「ITパスポート」の取得促進に向けた入門研修の実施など

（2）　県民の視点に立った行政サービスの提供

－ ㊨ 広報・広聴体制の強化（一部再掲）　5,000 千円
県の取り組みや事業などを紹介する動画チャンネルの開設、
戦略的な広報の推進に向けた研修の実施など
－　老朽化に伴う寺町公舎（部長公舎）の廃止、解体、跡地の売却
－ ㊨ EBPMの手法の本格的な導入（再掲）　6,017 千円
－　県有施設の計画的な長寿命化対策の実施（一部3月1次補正）（再掲）
2,777,370 千円

（3）　財政健全性の維持・向上

・　歳入確保に向けた取り組み

－ ㊨ 全国型市場公募地方債の発行（再掲）

－　ふるさと納税制度を活用した県の魅力発信　200,000 千円

県外在住の寄附者を対象とした県の特産品等の返礼品贈呈

－　税収の確保

滞納整理機構による個人住民税の市町との共同徴収